



編集・発行

大阪府立

呼吸器・アレルギー医療センター

大阪府羽曳野市はびきの3丁目7-1

TEL:072-957-2121

FAX:072-958-3291

HP: <http://www.ra.opho.jp>

E-mail: kokyucen@ra.opho.jp



風邪とインフルエンザの季節ですよ！

副院長 おおた 太田 みつり 三徳

風邪とは様々なウイルスが鼻や“のど”に感染して、咳、のどの痛み、鼻水、鼻づまりに加えて熱、だるさ、頭痛などの全身症状が伴った状態をいいます。インフルエンザウイルスも病因の一つですが、その他のウイルスとは違って強い症状が急速に表れて、肺炎や脳症などを合併するのが特徴です。インフルエンザという病名は、ヨーロッパで18世紀頃にこの病気が「星の配列の影響」や、「寒さの影響」と呼ばれたため、「～の影響」というイタリア語の「インフルエンツァ」からきています。

20世紀初頭のインフルエンザといえば、第一次世界大戦中の1918～1919年に起きたスペイン風邪です。このときは世界の人口約20億人中5億人が発症し、死者は世界中で8000万人～1億人でした。アメリカで発生して戦場に向かう船でヨーロッパに広がり、戦争中の両軍では戦死者よりはるかに多い病死が出たことが戦争終結の一因といわれています。

この様にほかのウイルスよりも病原性が高いのは、インフルエンザウイルスの表面にあるHとNというタンパク質が変化して人の免疫から逃れて体の中で自由に暴れるからです。スペイン風邪の型はH1N1、1957年のアジア風邪はH2N2、2003年の鳥インフルエンザはH5N1、昨年より流行しているのはH7N9というように型が変化するので、感染しやすく重症になります。スペイン風邪の時は人の旅行も船や鉄道だったので世界中に広がるまでに約10ヶ月かかりましたが、現代では飛行機なので約1週間で広がるといわれています。



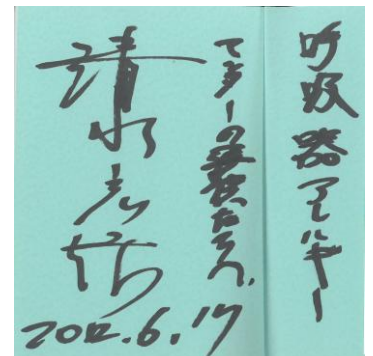
予防は今も昔も、うがい、手洗い、マスクです。皆様、お気を付け下さい。

ぜんそくカ

小児科主任部長

とい さとる
土居 悟

冬期オリンピックのシーズンになりました。スピードスケート500メートルで金メダルを獲った清水宏保さんは3歳ごろにぜんそくを発症し、長野オリンピックの時もぜんそくの治療中でした。清水さんは『ぜんそくカ』という自身の本の中で、「ぜんそくだったからこそ僕はオリンピックで金メダルが獲れた」と書いています。長野の4年前、アルバーンオリンピ

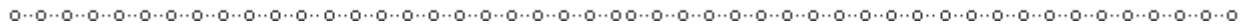


清水宏保選手のサイン

ックの選考会で風邪を引き、レース前日にぜんそく発作を起こし、オリンピック出場を逃した清水さんは、4年後に向けて発心したのです。まず専門医を訪れ、ぜんそくとはどのような病気であるかを教えてもらいました。ぜんそくは気管支の炎症が続いている慢性の病気であることを知りました。そして、治療はぜんそくの原因となるものを避けることと同時に、気管支の炎症を抑える予防薬を毎日使用することを勧められました。そこで、医師の指示通りに予防薬を定期的に続け、ぜんそくをコントロールするとともに、風邪をひかないように細心の注意を払って体調管理を行いました。その上でトレーニングにトレーニングを重ねた結果、長野で金メダルを手にすることができました。「その金メダルを、父の死後、苦勞をかけどうだった母の首にかけてあげたときには本当によかったと涙が止まりませんでした」と清水さんは書いておられます。『ぜんそく力』は、全速力とも読めますが、全速力で走れたのは、喘息であることをよく勉強し、精進することによって喘息を力に変えたぜんそく力ということだと思います。

<放射線科 MRI 検査 その1>

放射線科 とよかわ 豊川 さおり 沙織



MRI とは、強い磁石と電波を利用して、いろいろな角度から人体の断面像を撮る検査です。脳や脊髄、内蔵、筋肉、関節、血管などの詳細な情報が得られます。また、検査にエックス線は使用しないので、放射線被ばくの心配がありません。



MRI 検査室は常に強い磁場が発生しています。安全に検査を行うために、心臓ペースメーカーや刺激電極などを身につけている方、体内に脳動脈クリップや人工関節などの金属が埋め込まれている

方、妊婦または妊娠されている可能性のある方は MRI 検査を受けられないことがあります。担当医または検査担当者にあらかじめお知らせ下さい。また、時計・眼鏡・ヘアピン・アクセサリー・取り外しのできる義歯などの金属類、キャッシュカードなどの磁気カードを持ち込まれますと、破損したり検査に影響したりすることがありますので、検査前に取り外しておいてください。

MRI の検査時間は検査内容により異なりますが、30～60 分程度です。寝台に寝て頂き、大きな丸い筒状の穴の中に入り検査をします。検査中は「トントン」という工事現場にいるような大きな音がしますが、ヘッドホンをして頂き、音楽を流しながら検査を進めていきます。検査中はマイクやブザーなどで常に検査担当者との連絡を取ることができますので、安心して検査を受けてください。

2月の教室案内

*カンガルー教室	● 2月5・12・19・26日	午後1時～	第1会議室
*禁煙教室	● 2月6日	午後3時30分～	医療情報コーナー
*喘息教室	● 2月20日	午後2時～	第2会議室